



# 学校だより 第8号

発行 上越市立城北中学校

発行日 令和7年 12月 18日

<http://www.johoku.jorne.ed.jp>



今年も大谷翔平選手の活躍が連日のように報道されました。最近、来年3月開催予定のWBC（ワールド・ベースボール・クラシック）への出場を表明し、話題となっています。

少し前の話になりますが、その大谷選手らが出場した3年前のWBCで、14年ぶりに、日本を世界一に導いた当時の監督、栗山英樹さんの言葉を借ります。

「チームで<sup>さむらい</sup>侍 JAPANではなく、あなた方一人一人の<sup>いとな</sup>日々の営みが侍 JAPANなのです」  
開幕前、初めて代表選手を招集した際、最初に全員に向けて話されたそうです。この言葉がどのように各選手の心に浸透していったのか。

それは、激戦を重ね見事優勝を果たし、凱旋を飾った記者会見での選手一人一人のコメントからうかがわれました。どの選手も、自分の所属チームでは中心となるスター選手でした。しかし、本大会では、なかなか試合に出られず控えに回る選手もたくさんいました。そうしたどの選手も異口同音に優勝の喜びと、チームの一員として貢献できたことへの満足感、達成感を語っていました。その背景には、活躍した大谷選手や山本投手だけでなく、むしろ不振に悩む選手や控えに回った選手にこそ寄り添い、自らの思いを届け続けた栗山監督のきめ細やかで温かな配慮があったことでしょう。

学ぶべきはここだと思います。栗山監督の「あなた方」の中には、もちろん監督自身も含まれていて、選手だけでなくコーチやスタッフを含む構成員一人一人の日々の営みが大切だよと説かれているように感じます。

「あなた方一人一人の日々の営みが〇〇〇〇〇〇なのです」

令和7年の結び、同時に、令和8年度に向けた歩みが始まりました。12月2日、生徒会役員選挙の立会演説会が行われ、8名の立候補者それぞれが、目指す生徒会像やスローガンを掲げ、自分自身の言葉で熱心に全校生徒へ呼び掛けました。その姿から、城北中を誇りに思い、よりよくしたいと考えていること、そしてそのために自分が全校生徒の先頭に立ちたいという決意が伝わってきました。

立候補者や責任者だけでなく、選挙期間中、選挙管理委員を務めてくれた生徒、推薦や応援で選挙運動に参加してくれた全ての皆さんに感謝しています。そして、これからも限りなき前進を続ける城北中生徒会の発展を願っています。

## 保護者・地域の皆様へ

皆様のご理解とご支援により、予定の教育活動を進め年の瀬を迎えることができました。厚く御礼申し上げます。よいお年をお迎えください。新年もよろしくお願い申し上げます。

(校長 尾崎 誠)

## 冬休みの生活



①城北中学校 (025-523-7266) ②教頭 佐藤文大 ( - - )